

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2000-114774 (P2000-114774A)
 【公開日】平成 12 年 4 月 21 日 (2000.4.21)
 【出願番号】特願 平 10-297624
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 5 K 9/00

G 0 1 R 29/10

【 F I 】

H 0 5 K 9/00 W

G 0 1 R 29/10 E

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 4 4 】

この電波吸収体組立用部材 6 1 は、上述の電波吸収体組立用部材 5 1 と同様に、不燃性材 6 3 A , 6 3 B を保護する目的で、領域 6 2 b , 6 2 c の 3 方の端部にそれぞれ保護用フランジ 6 2 ' b , 6 2 ' c が折り曲げ可能に設けられているが、この保護用フランジ 6 2 ' b , 6 2 ' c が 2 段階で折り曲げ可能である点で異なる。この保護用フランジ 6 2 ' b , 6 2 ' c は、図 1 5 (B) に示されるように折り曲げて不燃性材 6 3 A , 6 3 B の側面および表面の端部近傍に無機接着剤を用いて固着される。図 1 5 (C) は図 1 5 (B) に示される電波吸収体組立用部材 6 1 の C - C 線矢視の断面図であり、基材 6 2 の領域 6 2 b 上に固着されている不燃性材 6 3 A の 3 方の側面および表面の端部近傍は保護用フランジ 6 2 ' b により保護された構造となっている。このような構造では、衝撃を保護用フランジ 6 2 ' b , 6 2 ' c が受けることにより、不燃性材 6 3 A , 6 3 B が保護され、特に不燃性材 6 3 A , 6 3 B の側面と表面との角部が確実に保護される。